

地域密着型サービス評価の自己評価票

グループホーム めだか

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	地域交流が図れる様にボランティアの方の活動を積極的に取り入れています。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	現在は、ホームに来て頂くことが多いので、もっと積極的にこちらから地域の活動に参加する事を検討していきたいと思えます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在は、地域の高齢者に対して、こちらから接する機会がなく、貢献できていません。	○	認知症介護のプロとして、地域の認知症介護の悩みや対応の仕方など気軽な相談の窓口として地域に貢献出来る様にしたいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の実施の意義は全職員は把握しています。また評価を活かし玄関の解錠等、改善に対し取り組んでいます。	○	入浴の回数、時間などまだまだ改善する点がありますが、職員一同で話し合い善処して行きたいと思います。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では事業所の状況、イベント、利用者様の状況、事故等の報告を行い、出席して頂いた方の意見、要望、また評価に対しての改善策等を話し合っています。その意見を職員会議で報告しています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービス連絡協議会などで行われる市町村参加の会議等に積極的に参加しています。	○	今後の課題として、もっと市町村との連携を密にして行きたいと思います、
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在は利用されている利用者様はおりません。	○	全職員が地域福祉権利擁護事業、成年後見制度について学ぶ機会を作って行きたいと思います。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員、徹底して虐待を防止にしております。	○	全職員が地域福祉権利擁護事業、成年後見制度について学ぶ機会を作って行きたいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約時、共に利用者様や後家族様十分な説明を行い理解、納得をいただいている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様のどんな小さな要望や、不満にも耳を傾けるようにして出来る事はすぐに反映する様に心掛けている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族様の来苑時に健康面や現状等、報告させて頂いております。また、必要時には電話での相談や報告をさせて頂いております。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置の他、来苑時にお話を伺い、口頭での意見、苦情等も文書にして閲覧してあります。また、苦情等の連絡場所を当事業所以外の市役所、国保連の電話番号を掲示しております。また要望のあった苑庭の整備については、すでに実行しました。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案は職員会議や業務の中で話し合っ、反映させています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様やご家族の状況の変化、要望に出来る限り柔軟に対応し職員の勤務の調整に努めています。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動などで新しい職員が入った時などは、なじみの職員とが半月位共に働き違和感を持たせない様、配慮して、早く馴染めるように努めています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じて、法人内外の研修を受ける計画になっております。また、レベルアップのため講師を迎え、計画的に全職員が参加をしております。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列の事業所との交流を蜜にし、相互の活動を通じてサービスの質の向上を図る様にしています。また、地域密着型連絡協議会主催の研修会などに参加しています。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレス軽減のために職員とのコミュニケーションを図り、ストレスを溜め込まない様な何でも話し合える職場づくりを目指しています。また有給など、業務に支障をきたさない程度に取り入れています。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の個々の努力や実績、勤務状況などの把握に努め、それが反映され、更なる向上心に繋げて行けるように努めています。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居されるまでまでの生活歴や性格、病歴等を傾聴し、ニーズを的確に受け止め信頼関係を気付いています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族様の気持ちを傾聴し、受け止めて、これからホームの利用にあたっての要望等を話して頂いています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に面接を行い、一番必要とされているニーズを見極め、その支援方法を的確に判断し、利用者様、ご家族に対応方法を説明しています、		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人とご家族様に入居前に見学に来ていただき、ホームの雰囲気や特徴を知って、納得して入所して頂き、まずはホームの雰囲気に慣れて頂く様、職員、他の利用者様とのコミュニケーションに気を配りご家族様の面会の機会も多くして頂く様に相談をしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者様と協力、協動してお互いに感謝の気持ちを持って生活をし、喜怒哀楽を共にしています。また、人生の先輩として利用者様に教えられる事が多くあります。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話などで職員は、利用者様の様子等などの報告を兼ねて今後の方針等をご家族様に相談をして意見、要望を話し合っ、一緒に支援して行くというスタンスを取っています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでのご本人と家族様との関係を理解す事で問題点、良い点を見極め、入居されてからも更に良い関係が築ける様に連絡、報告を密にして支援しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様にも声を掛けさせて頂き了解を得て、ご近所の仲良しの方、親戚の方などに面会や外出をお願いしています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士の関係を把握して、ホールの席替え等に気を配り、一人ひとりが心地よい場所に居られる様に配慮しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も継続的に相談や関わりを持って行きたいと思っています。	○	この間も入院にて退所された方が自宅に外出で帰られた時に、トイレ誘導が旨く出来ないからと言って、ホームに来られたので職員が介助して差し上げました。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の係わり合いの中でご本人の意思、希望を言葉や表情などから推察したり、お聴きしたりして把握する様にしています。困難な場合は、利用者様の立場に自分を置き換えて、意向を推し量る様にしています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様のこれまでの生活歴、環境を大事にして、入居時には馴染みの家具、衣類等を使用して頂く様にしております。またホーム利用までの経過等を全職員が把握する様に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの有する力を把握して、個人の能力に合わせて出来る事、出来ない事を見極め、支援しております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族様の思いや意見を聴き、職員会議などで取り入れ、ケアカンファレンスを行い意見交換をして介護計画に反映しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しは3ヶ月ごとに行っていますが、身体的な状態、生活状況の変化があった場合は、随時見直しを行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のチャートとして記録し、毎日の生活ぶりや計画を立てたケアプランの実践記録として又、情報の共有が図れるような記録をおこなっています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者様、ご家族様の状況に応じて。通院介助や買い物の支援等、必要に応じて柔軟に対応している。外出行事には、併設施設のワゴン車を使用している。		
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者様の了解を得て、ボランティア、消防、民生委員、教育機関の方と協力しながら、支援を行なっています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は、他のサービスは利用されている利用者様はいませんが希望や必要性があれば対応いたします。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要性に応じて、行う事としています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の希望をお聞きする。当ホームでの協力病院がある事もお伝えし、ご本人、ご家族様の希望に添ったかかりつけ医にさせていただく様にしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>職員は利用者様の誇りやプライバシーを尊重して、個人情報に配慮した記録を行っています。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>利用者様の思い、希望を表出できる様に働きかけています。言葉に表せない利用者様には、表情や、態度などで出来る限り、その意思を汲み取るように努めています。</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>一日の時間割りがおおまかには設定されていますので、それに自らが合わせ行動する利用者様が多いですが自分では行動の配分ができない方などは、無理強いせず、お願いをしています。</p>		
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>理容・美容はほとんどの方が訪問理容を利用されていますが、入居時には、ご家族とご本人の希望をお伺いして選択して頂いております。身だしなみやおしゃれは、利用者様の選択に任せておりますが自分でできない方には、一緒に選択しております。</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>利用者様は、テーブルを拭く、配膳をする、下膳をするなど毎日、毎日の日課として積極的に参加されています。食事は職員も一緒に行い、見守りや介助しながら楽しい雰囲気大切にしています。</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>苑内は、飲酒、喫煙は現在は行っておりません。お正月はお屠蘇として少しのお酒を召し上がって頂いております。喫煙に関しましては、現在は喫煙者がおりませんが、吸われる場合は、屋外での喫煙になります。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者様の排泄のパターンを出来る限り把握して、トイレでの排泄が行なえる様に支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間は決まっているが、入浴の希望やタイミングは出来る限り利用者様の要望に添って支援しています。	○	時にはの個人入浴など利用者様の立場に立った入浴など検討中です。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様の生活習慣を大事にして、要望に応えたり、室温、湿度に配慮して安心して眠れるように支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の配膳、下膳、テーブル拭き、掃除、洗濯物干し、洗濯たたみ等、毎日の生活の中で役割を持って過ごされております。また、共有の事が無い時間などは1人ひとりが自分の好きな事をされ過ごされております。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人希望とご家族様のご理解の下、お金を持っている方はおりません。		防犯上、苑に金銭を置くのは出来る限り少ない額にしましょう。というのが施設の方針です。利用者様はお金を持たれない状態のほうが、安心できるようです。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月に一度は車で外出したりしておりますが、普段でも苑庭に出て歌をうたったり、散歩されたり、外気浴を楽しんだり出来る限り外の空気に触れるようにしております。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	職員が交代で月に一度はイベントを企画して、季節を取り入れた外出先の思考を凝らしています。また、外出した時は必ず、外食をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りは、利用者様とご家族様の要望に添って行なっています。また年賀状などは、利用者様に自信で書いて頂く様に支援しております。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者様、ご家族の制限がない限りは、何方様でも歓迎しております。また来訪した時は、ゆっくりと心置きなく、談話出来る様に配慮しています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が身体拘束をしないケアを実践しています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	10時から12時30分までの時間は、玄関の鍵を開放しています。	○	解錠の時間を延長する方針です。そして全面的に解錠を行う計画です。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は、利用者様のプライバシーに配慮しながら、所在確認や状態の観察をして、安全に気を配っています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者様、1人ひとりの状態に応じて危険を予測して、居室に置く物を工夫をしたり、共有の場所では、さりげなく見守りながら危険を防いでいます。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者様の1人ひとりの状態を把握して事故を未然に防ぐように努めています。また、事故が発生した時には、事故原因を探り職員で共有して再発防止に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ホームに救急救命士を招き、緊急救命の講習会を開き応急手当、初期対応、AEDの使い方などを学びました。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、日中想定、夜間想定 of 災害時避難訓練を実施しております訓練には、近隣住民も参加しております。併設のグループホームや老健などの協力、も得られます。	○	火災時には、ボタンを1つ押すだけで消防署、職員、に電話が入る、自動火災通報装置が設置されました。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入所時には、利用者様、ご家族にリスクに関する書類を良く説明して、押印をいただいています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定や様子観察で異常を早期発見して医療との連携を行い、全職員に申し送る体制が整っています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬は薬の内容についていつでも閲覧出来る様にしており、用法や用途、リスクについての本も用意してあります。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解して排便状況をチェックして水分補給、食物繊維、運動などに留意して便秘改善のために取り組んでいます。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時の洗面、毎食後の口腔ケア、毎晩、洗剤による入れ歯の除菌を行っています。また併設の施設より歯科衛生士の指導を受けています。	○	口腔ケアの最後のチェックを職員が行いたいのですが、拒否がある方の対応を検討しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事はのバランスを考慮しています。食事の量は体調、体重の変化などを視野に入れ、個別対応にて調整しています。水分補給は一日の摂取量を個人チャートに記載しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対しては、感染対策マニュアルを準じて対応しております。また、ノロウイルスに関してはノロウイルス対策セットが常備されています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器、調理器具は洗浄後の乾燥機による熱乾燥、ハイター消毒などの処理を行い、食材は冷蔵庫の過信を避け賞味、消費期限の確認を行い安心安全な食事作りに努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には常に花が咲き、利用者様には一緒に水遣り、草むしりをして頂いています。また、車の出入りが多かったため、苑庭を整備して安心して外でのレクリエーションを楽しんでいます。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有のスペースは、明るく、天窓から新鮮な外気を取り入れています。玄関、ホールには観葉植物や花を活け季節を感じる様に配慮しています。また、ホールから食事を作っている姿が見えて、生活感のある食事作りの音や匂いで食欲を刺激される様です。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳みコーナーやソファがテーブルより少し離れた場所に設置してあります。一人でテレビをご覧になったり、畳みに座ったり、また、自分の席で気の合った方と談話されたりして過ごされています。また、トラブルが発生した時には席替えなど利用者様同士の関係に配慮し工夫しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所の時に利用者様が自宅で使用していた慣れ親しんだ家具、寝具が精神的に落ち着き安心できる事を説明して、出来る限りに用意して頂いております。また、家族の写真、自分で塗ったカレンダー、作品を居室に貼っています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	利用者様の体調や季節に応じてこまめに換気や温度調節を行い、淀んだ空気、臭気に配慮しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり、段差、ドアなど利用者様の安全、かつ自立に配慮しています。また転倒などの原因が建物内部の構造上に問題がある場合は迅速な対応に努めています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者様、一人ひとりのわかる力を見極め、解らない所を事前に、それとなく声掛けや誘導をして補い、混乱や失敗を防ぎ自信を持って頂けるように努めています。	○	利用者様の日々変わる状態を考慮してケアを柔軟に変えて、都度最善に対応出来る様にしたいと思います。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外周りが駐車場で危険だったので柵を設け改善して、気軽に安心して外気欲、花壇作りを楽しんで頂けるようになりました。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・ホームでは毎朝の掃除は7名の利用者様が職員と共に行っています。車椅子や自室に居られた方も掃除機の音がすると自主的に参加して下さいます。他の2名の方は洗濯物たたみなど座っていても出来る事を手伝って頂いています。一人ひとりがそれぞれの力に合った役割を持ち、意欲を持って生き生きとそして楽しく、安心して暮らして行ける様に支援したいと思います。